

平成30年度 第1回 新潟市白根地区公民館運営審議会会議概要

新潟市白根地区公民館

実施日時	平成30年度 第1回運営審議会 平成30年7月12日 午後1時00分から		
会場	白根学習館 2階 ルーム1・2	傍聴人	0人
出席者	委員	本間アユ子、田中宏和、吉田悦郎、今井美樹子、山崎らん子、富井志穂、杉柳初枝、平原智恵子	
	事務局	白根地区公民館	牛腸まゆみ、古川正利、野崎義和、土田貴子、佐藤裕子、高森則行、廣田房子、関口妙子、星野美帆、渡辺晶子
		味方地区公民館	渡辺哲哉、笹川久雄
		月潟地区公民館	川又弥須宏、武田峰和
次第	<p>1 開会</p> <p>2 館長あいさつ 白根地区公民館長</p> <p>3 議長あいさつ</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 平成29年度南区公民館事業報告について(事業評価)</p> <p>(2) 平成30年度新潟市公民館事業の基本方針について</p> <p>(3) 平成30年度公民館事業計画(案)について</p> <p>(4) その他</p> <p>5 その他(連絡事項等)</p> <p>第69回 新潟県公民館大会について</p> <p>6 閉会</p>		
事務局 委嘱状の交付	<p>(司会)</p> <p>本日はお忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の全体進行を務めさせていただきます、白根地区公民館の古川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、本年4月から学校関係者2名が異動で替わりましたので、牛腸白根地区公民館長から委嘱状の交付をさせていただきます。各委員は、前で委嘱状を交付させていただきますので、名前を呼ばれた委員はその場でご起立ください。なお、今田中委員が少し遅れているようですので、あとにさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(白根地区公民館長)</p> <p>委嘱状、本間アユ子様。新潟白根地区公民館運営審議会委員に委嘱します。委嘱期間は、平成31年3月31日までとします。平成30年4月1日新潟市教育委員会。よろしくお願いいたします。</p> <p>(司会)</p> <p>これより、平成30年度第1回新潟市白根地区公民館運営審議会を開始いたします。最初にお願いですが、本日の会議につきまして会議録を作成する必要がありますので</p>		

	<p>で、録音をさせていただきますことをご了解ください。</p> <p>また、本日の出席者でございますが、高橋委員、笹川委員から欠席の連絡を受けております。田中委員も間もなく来ると思いますが、過半数を超えていますので当会議は成立していることをご報告いたします。また、傍聴者は今回いらっしゃいません。</p> <p>はじめに、牛腸白根地区公民館長からごあいさつを申し上げます。</p>
白根地区公民館長挨拶	<p>お疲れさまです。白根地区公民館長の牛腸でございます。本日は、お忙しいところご出席いただきまして大変ありがとうございます。今ほど、味方小学校の本間校長先生から前任者の在任期間をお引き受けいただいたところです。委員の皆様には今期任期の2年目になりますけれども、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>そして、私ども職員も白根地区公民館が2名、味方地区公民館で1名の異動がありましたので、のちほど紹介させていただきます。</p> <p>公民館では、各種講座や体験教室など様々な事業を行ったり、また各コミ協単位でそれぞれの地域の特性を生かした地域活動を行っております。事業の支援をしたり、講座等を行ったり、地域とともに地域を元気にすべく地域づくり、人づくりに取り組んでいるところです。しかし、平成29年度の審議会でもお話させていただきましたけれども、市の財政状況は大変厳しく、公民館事業費や施設管理費の削減や公民館事業の受益者負担の課題があります。そして、行革プランの重要課題の公共施設の適正化や組織、定員の適正化などこれらは公民館のあり方について大きな影響があるかと思われます。本日の主な議題は、前年度の事業報告と新年度の事業計画です。平成30年度、事業がすでに始まっておりますが、公民館活動全般について、忌憚のないご意見やご要望を伺えたらと思ひます。ご審議のほど、よろしくお願ひいたします。今日はよろしくお願ひいたします。</p>
事務局 委嘱状の交付 委員の自己紹介	<p>(司 会)</p> <p>田中委員が今いらっしゃいましたので、委嘱状の交付をさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>(白根地区公民館長)</p> <p>委嘱状、田中宏和様。新潟市白根市公民館運営審議会委員に委嘱します。委嘱期間は、平成31年3月31日までとします。平成30年4月1日、新潟市教育委員会。よろしくお願ひいたします。</p> <p>(司 会)</p> <p>それでは、今回委員が変更になりましたので、変わられた本間委員、田中委員それぞれ自己紹介をお願ひできますでしょうか。</p> <p>(本間委員)</p> <p>ごめんください。味方小学校の校長の本間アユ子と申します。学校の立場で審議会に参加することができて、大変嬉しく思っております。前任の松野尾小学校で、西蒲区の公民館事業に参加させていただいていましたので、続けてまたこちらでも一緒に考えていけたらと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>(司 会)</p>

	<p>ありがとうございました。</p> <p>田中委員お願いいたします。</p> <p>(田中委員)</p> <p>白井中学校の田中と申します。よろしくお願いいたします。すいません、今日は1年生、2年生の体験学習で、回ってたどりつかなくて。新任でございます。派遣社会教育主事ということで、山北町と栗島浦村に広域派遣をした経験があつて、また生涯学習のお仕事に携われることを非常に喜んでおります。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局 職員自己紹介</p>	<p>(司 会)</p> <p>ありがとうございました。続きまして、公民館職員も異動で新たに白根地区公民館に勤務になった職員もいますので、それぞれ自己紹介させていただきます。</p> <p>(白根地区公民館長)</p> <p>白根地区公民館長の牛腸でございます。2年目になりますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局：高森)</p> <p>この4月から、西蒲区役所の産業観光課から異動で来ました高森と申します。私自身、公民館の勤務自体が初めてですけれども、精いっぱい頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局：野崎)</p> <p>同じく、白根地区公民館職員の野崎と申します。茨曾根と新飯田を担当しております。よろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局：渡辺)</p> <p>白根地区公民館2年目になりました渡辺と申します。よろしくお願いいたします。担当は庄瀬地域担当になります。お願いいたします。</p> <p>(事務局：土田)</p> <p>この4月から、白根地区公民館に西蒲区の税務センターからまいりました土田と申します。地区としましては、白根と白井を担当しております。よろしくお願ひします。</p> <p>(事務局：関口)</p> <p>白根地区公民館の関口と申します。今年で3年目です。大郷、鷺巻地区を担当しております。よろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局：佐藤)</p> <p>白根地区公民館の佐藤です。2年目になります。業務は、管理とこれから学習館まつりを担当します。よろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局：星野)</p> <p>白根地区公民館の非常勤嘱託の星野と申します。担当しておりますのは、小林地区と家庭教育学級になります。よろしくお願いいたします。</p> <p>(司 会)</p> <p>あと1人、廣田がいませんが、後で入ると思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>(味方地区公民館長)</p>

	<p>味方地区公民館長の渡辺です。2年目になります。よろしくお願いします。</p> <p>(事務局：笹川)</p> <p>味方地区公民館の笹川です。よろしくお願いします。</p> <p>(月潟地区公民館長)</p> <p>月潟地区公民館長の川又といます。早いもので4年目になります。いかに公民館が地域の人に愛されるといいますか、どうやったら公民館が皆さんの役に立つかと思って、公民館事業を進めています。どうぞよろしくお願いします。</p> <p>(事務局：武田)</p> <p>月潟地区公民館の武田と申します。3年目になります。よろしくお願いいたします。</p> <p>(司 会)</p> <p>皆さん、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日、高橋議長が欠席ですので今井委員から議長の役目をさせていただきたいと思しますので、以降の進行をよろしくお願いいたします。</p>
今井副議長	<p>本日、高橋議長の欠席のため、ここからは進行を務めさせていただきます今井です。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>早速ですが、議題を進めていきたいと思います。議題（1）平成29年度公民館事業報告について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>4 議題</p> <p>(1) 平成29年度南区公民館事業経過報告について</p> <p>事務局より白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の順に各館ごとに説明。</p>	
事務局	<p>(司 会)</p> <p>審議に入る前に、資料の確認をさせていただきます。事前に資料1から資料3を郵送させていただきました。本日机の上に置かせていただきますのがレジユメと資料4、資料5。それから、来週の公民館大会に出席される方については、公民館の会場経路図が机の上に置いてありますがもし不足があればお申し出ください。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これから説明をさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>(白根地区公民館長)</p> <p>まず、資料1になりますが、こちら平成29年度公民館事業の報告ということになります。こちらについては、平成29年度の2回目の会議の際に1月までの報告をさせていただいておりますので、2月、3月の分について主な事業について報告させていただきます。</p> <p>重点項目1、地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業として2ページ目になりますが、21番の「臼井の達人」について報告させていただきます。</p>
事務局	<p>資料1の2ページの21番、臼井地区の「臼井の達人」について説明をさせていただきます。こちらの「臼井の達人」の事業については、全部で3回平成29年度行いました。1回目は、夏休み8月7日、2回目が冬休みの1月6日、3回目については3月27日の春休み期間に行わせていただきました。3回目の事業については、アロマテラピー、アロマでリラックスという講座名で行いました。定員15名のところ、参加者は</p>

	<p>全部で 16 名になりました。事業の目的としましては資料にも書いてございますが、地域の方から講師になっていただくことで地域の人材を生かし新たな人材の発掘を目指すことを目的としています。3月のアロマでリラックスについては、白井在住の早藤さおりさんというアロマセラピストの方から講師に来ていただきました。内容としましては、アロマセラピーって何ですかというお話だけではなくて、実際に香りをかいだり、ルームスプレーとって衣類やお部屋にシュッシュッとかけるような実際にルームスプレーを子供たちと作るような内容になっていました。この事業の成果としましては、今回講師に来ていただいた早藤さおりさんについてはこういった講座の講師をすることは全く初めてで、講師をしたことがない方に今回は初めて講師をお願いすることができたということが成果になります。この事業の今後についてですが、この講師の方はまたこういった講師のお仕事についても、また経験させてもらいたいという感想をお持ちのようでしたので、また本年度以降についても講座と講師をお願いしようかと考えております。</p> <p>また、この「白井の達人」については、小学生の子供を対象にすることが多いですが、地域の方の発掘ということで、子供向けだけではなくて大人向けの講座も小学校などを会場にして開けたらいいと考えております。21 番の白井の達人についての説明は、以上です。</p>
白根地区公民館 館長	<p>(白根地区公民館長)</p> <p>続きまして、3 ページになりますが、3 番の家庭の教育力の向上を支援する事業として「孫育て講座」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>担当しました、星野と申します。よろしくお願いいいたします。それでは、3月に行われました「孫育て講座」について報告いたします。助産師と家族相談員に講師をお願いしまして、2回連続講座で行いました。1回目ですと、最新のケア方法についてとても皆さん関心を寄せられていました。2回目はお互いを尊重したコミュニケーションの取り方について、とても熱心に聞かれていました。講座の最後のアンケートでは、満足度が 95 パーセントで今後の講座の企画に携わってみたいという方が 7 人いらっしゃいましたので、その方たちに企画の協力をこれからお願いし、一緒に講座を作っていきたいと思っております。また、のちほど今年度の計画で説明をさせていただきますが、新規で子育てサロンを立ち上げましたので、こちらのほうにも講座に協力してみたいといった方にご案内を出させていただきます、いずれ地域の子育てサポーターとなっていただけたらと思っております。以上です。</p>
白根地区公民館 館長	<p>続きまして、同じページ 4、青少年を生きる力を育む事業として、1 番「こどもチャレンジ」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>野崎です。こどもチャレンジの④の説明をしたいと思っております。春休み期間中の 3 月 28 日に白根学習館和室を会場にけん玉体験を開きました。対象は小学生児童で、1 年から 2 年生のみ保護者同伴といたしました。その結果、南区内の児童 1 年生から 4 年生までが 18 名申し込みがありまして、そのうち 1 年生が 10 名いたため保護者も合わせる</p>

	<p>と合計 33 名になりました。講師は、けん玉を通じたユニークな教育に取り組まれた、元小学校の校長先生で、「けん玉校長と子どもたち」いう本も出版された方です。当日は、日本けん玉協会の立派な認定証も講師から用意していただき、子供たちは講師のけん玉を借りて、終了時間まで一つでも級位を目指して親子で夢中になってけん玉を楽しみました。また、余談ですが、白根地域生活センターで月 2、3 回夜に日本けん玉協会新潟県支部により運営されています、けん玉教室が開かれていまして、いつも幼児から大人まで二、三十人が参加されているのだそうですけれども、その中にはなぜか南区の参加者の方はいないとのことです。同会場では年 2 回新潟県けん玉大会も実施されて、県外からも複数名の参戦者もいるとのことです。以上です。</p>
白根地区公民館 館長	<p>続きまして、4 ページ 5、高齢者の学習や社会参加を支援する事業として、5 番「愉快痛快シニアライフ」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>担当の、白根地区公民館の高森です。私から、愉快痛快シニアライフ事業についてご報告いたします。本事業は、シニア世代に役立つ講座を通じて交流や仲間づくり、地域活動への参加のきっかけづくりを目的としている事業です。事業内容といたしましては、「中高年からの初めてピアノ」と題し、今までピアノに興味があったができなかったという方や指先も使うことで脳の活性化につながる脳トレとして取り組みたい方など、ピアノの方に対しピアノを初歩から教え少しでもピアノが弾けるようになることを目指しました。そして、2 月 21 日と 3 月 7 日の 2 回連続講座として、大通地域生活センターを会場に実施いたしました。合計 18 名の方が受講者として参加いただきましたが、受講者の方からも非常に好評をいただき、これからもピアノを続けたいということで、受講者の中からサークルが一つ誕生いたしました。事業目的であるシニア世代の交流や仲間作りに講座を通じてつなげることができましたが、反省材料といたしましては開催時期が冬場で昨年度は大雪の影響もありシニア世代の方には会場までの移動が非常に大変だというご意見をいただきました。今年度についてはこれらの反省を生かした講座、企画にしたいと考えております。</p>
白根地区公民館 館長	<p>最後になりますが、6 の項目の 8 番「シロネニュースセミナー」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>「シロネニュースセミナー」について報告させていただきます、白根地区公民館の渡辺です。よろしくお願いたします。この事業は、公民館でも数少ない若者向けの事業です。公民館にほとんど来たことのない概ね 20 代から 30 代の若者に少しでも公民館に来てもらうことを目的に開催しております。昨年度平成 29 年度は、前年度の反省を生かしまして、募集の広報にとっても力を入れました。公民館のチラシ、公民館関係だけにチラシをまくのではなく、南区の大きな企業にも伺いましてチラシを置かせていただきました。実際に、職場のチラシを見て参加した方が 2 名ほどいらっしゃいました。参加者は南区内、あとは近郊からの申し込みで定員が 20 名のところ、連続 3 回講座だったのですけれども単発もオッケーということでしたので募集が 21 名。内訳は男性 6 名、女性</p>

	<p>15名の参加がありました。講座の内容としましては、1回目は自分を見つめる座禅体験ということで、ネクスト21で朝座禅活動をしていらっしゃる阿賀野市の住職酒井さんにお越しいただきまして座禅を体験していただきました。体験のあとは茶話会で、お互い自己紹介をしたり若者同士の交流を深めることができました。2回目は、初心者のためのマナーセミナーということでファイナンシャルプランナーの方からお金の基本についてお話をいただきました。生涯、必要なお金やお金の整理の仕方などの講義を聞いていただきました。参加者の男性は、この2回目に興味を持って参加したという声が多く聞かれました。3回目は清野幹さんによるバランスのよい食事とボディメイクレッスンということでFM新潟のラジオパーソナリティを務めていらっしゃる清野幹さんにお越しいただきまして、バランスのよい食事の取り方ややせるための効果的なトレーニングの方法などをレクチャーしていただきました。全回をとおしてのアンケートには、普段はなかなか学ぶ機会がないので参加できてよかった、すべてのセミナーで新しい発見があった、同年代の異業種の人と交流できてよかったなどの感想が寄せられました。</p> <p>アンケートの中に企画委員の募集の欄を設けたところ4名の方から手を挙げていただきましたので、今年度はこの方々と一緒に企画、実施できればよいと思っています。</p>
白根地区公民館 長	<p>以上で、白根地区公民館の事業報告を終わらせていただきます。 続いて、味方からお願いいたします。</p>
味方地区公民館 長	<p>5ページ1枚分が味方地区公民館分でございますが、報告は担当の笹川から報告させていただきます。</p>
事務局	<p>5ページの大きい重点項目1の3番「味方塾」について説明したいと思います。笹川邸にちなんで歴史の講演会を毎年開催しておりますが、今回は笹川邸から100メートルほど離れたところに現存する郷倉について、その成り立ちや構造あるいは江戸時代の年貢の流れなどを学びました。きっかけは地域の歴史研究会の方で、年貢が笹川邸の蔵に入ったと理解している方がいられるけれども、実際には農民が建てた郷倉に集められていたのでテーマにしたいというお話から進めました。講師は、郷倉について著書もある巻地区の郷土史研究家の亀井先生にお願いしました。開催での参加者の反応ですが、大変喜ばれていました。それは、味方橋の工事で一変した現在の郷倉の昔の場所を近辺の古い図面で特定できたこと、それらの面積などから巻地区の現在の文化会館付近にあった巻の郷倉と同じくらいの規模だったのではないかなど、地域の方も新しい発見があったということです。</p> <p>さらに、当時のお寺でもお金の代わりに庭の木を切って寄進するというのが当たり前であって、その際には屋根裏の梁などは現在のようにきれいに四角に製材はしないで、丸木のまま使用したというのが通例だったけれども、味方の郷倉はそうなので、これは当時のものだとの講師の話で身近な歴史の話を聞くことができました。米の流通にあたっては、大阪まで出荷するときに農民側からも番人を随行させ</p>

	て船頭らの横流しをチェックしていたなども皆さんの興味をひいておりました。今後も笹川邸にちなんで歴史講座は開催していきたいと考えております。
月潟地区公民館 館長	次に、月潟地区公民館の事業報告を担当の武田からご説明いたします。
事務局	私から平成 29 年度事業報告について、お手元の資料 6 ページをご覧ください。2 月以降実施した事業を説明します。重点事項 1 の 9 番「地区歴史探訪」です。月潟地区の歴史を掘り起こし地域の再発見につなげるという趣旨で、地元の月潟おはなしの会の方より地域の民話をお話していただきまして、そのあと、「おながくっ子塾」の塾生がお琴を披露するという講座の内容となっております。例年、「おながくっ子塾」の生徒が減少しているという問題に今直面しておるところでございます。参加人数等の詳細につきましては、記載のとおりであります。そして、重点事項 4 の 2 番「チャレンジキッズ」は 3 回の講座であります。1 回目は昨年 10 月 7 日に親子サイクリングを開催しまして、アグリパークまで自転車で行って現地で豚汁を作って食べてきました。2 回目は、1 月 13 日に陶芸教室を開催しまして陶芸を作りました。3 回目は、3 月 17 日ににじ色の折り紙と万華鏡というものを作りました。小学生の土曜日、日曜日というものはクラブ活動などが忙しく公民館講座の参加者が少ないため、講座への参加者集めに苦慮しております。今後は、参加者拡充のため、講座内容や募集方法などを検討していかなければいけないと思っております。私からは以上になります。
今井副議長	ありがとうございました。ただいまのご報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。2 月に一度報告済みなので、そのときいられた方はだいたいお分かりになると思いますけれども、本間委員や田中委員はどうでしょうか。何かご質問ございますでしょうか。
本間委員	白根地区公民館の、説明にありました 21 番「臼井の達人」で地域の方が講師になっておられてとてもいいことだと思うのですが、地域の方をどのように発掘するというか、講師として選定するうえでどのように発掘されて、そして講師を引き受けていただいて、内容まで支援されているかと思うのですが、そこをとっても興味があって、今後……ということだったので、ぜひお聞きしたいと思いました。
事務局	講師の選定にあたりましては、学校にいられるコーディネーターの方ですとか、あるいは地域生活センターの職員のところ定期的にいくようにして、地域にどのような方がいるのでしょうかというお話をその中で聞いたりだとか。なかなか、地区担当の職員だけで探すということは難しいですので、そういった地域の方々あるいは地区行事に参加された保護者の方のお話の中で、あそこにこんなことをやっている人がいるというようなことでみつけることが多いかと思えます。
本間委員	学校にいる地域教育コーディネーターは、もう長年お勤めになっている方が結構増えていて非常に地域ともつながっていますので、ぜひつながっていただければありがたいと思います。学・社・民の融合にもつながりますので。ありがとうございました。

今井副議長	<p>ありがとうございます。よろしくお願ひします。</p> <p>ほかに、何かございませんか。</p>
田中委員	<p>4ページの6、現代課題を、の6番です。今年、私は市の社会教育委員も携わっております、次世代に向けた若者の世代育成といひましようか、そういったものが今時代の中心として時期新潟市の教育ビジョンに提言するという目的で会合を重ねている次第であります。その中で、若者がやはり公民館やそういったところに来なくなったといひことは大きな話題になっていひました。ところが、シロニュースセミナーの一ついいと思つたのは、参加者が自ら参画者となりいろいろな企画を考へるといひことはとても将来的に続くものだと思ひました。今、万代市民会館でオールという若者向けの施設があるのですけれども、なかなか若者が利用できるような講座やそういったものが、どうしたらいいのか悩んでいひるという話も聞いたことがあります。そういった中で、参加者が自ら発案をし、そして何か活動をする。やはり、若者がその中で自ら楽しむといひものでも、あてにされるという部分が感情のどこかしらにあれば、もっと価値が高くなるのかと思ひます。</p> <p>例へば、今、小中学校では社会貢献、地域貢献といひことで非常に課題となつていひます。そのような中で、いつも中学校や小学校に来ていただけるのは地域の高齢者の方が中心に来ていひらっしゃいます。何とか若い人たちも少し訪れていひだいて、何か子供たちに教へるとか一緒に活動するといひ場面があると、若者もそういったところに生きがいをみつけるとか、そういったこともあるのかと。もし、企画者がそのようなものが企画の中で思つていひたのであれば、どんどん推進されるといひのではないかと思ひました。</p>
白根地区公民館長	<p>ありがとうございます。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございます。貴重なご意見本当にありがとうございます。ほかにございませんか。一つ、いいですか。同じページの5の5番「愉快痛快シニアライフ」ですが、これ本当は私受けたかったのです。行こうと申し込もうとしたのですけれども、本当にあの雪で。今、実は事情があつて新潟のほうに暮らしていひるので、通うのが大変で行けなくてすごく残念でした。もう少し季節を考へてください。</p>
事務局	<p>一応、今年も同じ事業者を予定していひるのですけれども、今年は11月くらいにやろうかといひことで、今企画を組んでおりましたので、お願ひいたします。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございます。ほかに、ご質問等ございませんか。なければ、次に進んでいひたいと思ひます。</p> <p>次の議題(2)平成30年度新潟市公民館事業の基本方針について、事務局からお願ひいたします。</p>
<p>(2)平成30年度新潟市公民館事業の基本方針について 白根地区公民館長より説明</p>	

<p>白根地区公民館 館長</p>	<p>平成 30 年度新潟市公民館事業の基本方針について、ご説明させていただきます。資料 2 になります。こちら、平成 30 年度基本方針は新潟市の最上位の行政計画である、総合計画にいがた未来ビジョンまた教育の基本的方針を示した新潟市教育の大綱、そして教育ビジョン第 3 期実施計画の方向性に基づく方針になっております。今年度は、この三つの上位計画の対象期間中であることもあり、平成 29 年度基本方針と同じ内容となっております。1、はじめにの前段では、今ほど申し上げました新潟市教育の大綱とにいがた未来ビジョンの公民館社会教育生涯学習の位置づけや方向性が示され、さらに新潟市教育ビジョン第 3 期実施計画の生涯学習が目指す方向について三つあげてあります。そして、はじめにの後ろのほうになります。平成 22 年の公民館宣言の内容と地域課題や生活課題における公民館の役割を示してあります。2 の基本方針は、(1) での方向性を踏まえた三つの項目でございます。1、学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティの活性化、2、学・社・民の融合による地域教育力の向上、3、市民 1 人 1 人の多様なニーズに応じた学習機会の充実でございます。この基本方針を踏まえ重点的に実施していく事業が次の 3 にある基本施策の 6 項目になります。新潟市内の各公民館では、この基本方針に基づき事業計画を作成し事業を実施しております。4 に事業実施と評価について示してあります。なお、市財政の厳しい状況を踏まえ、今まで以上に創意工夫をこらし事業を実施していくという意味を込めましてこの計画があることを申し添えさせていただきます。平成 30 年度新潟市公民館事業の基本方針の説明は以上でございます。よろしく願いいたします。</p>
<p>今井副議長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまのご説明につきまして、ご質問ございますでしょうか。これについては、皆さんよろしいですね。ご質問がなければ、次の議題(3)の平成 30 年度公民館事業計画(案)について、事務局からお願いいたします。</p>
<p>(3) 平成 30 年度南区公民館事業計画および実施状況について 事務局より白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の順に各館ごとに説明。</p>	
<p>白根地区公民館 館長</p>	<p>こちら主なもの各重点項目から一つずつ白根地区は説明させていただきます。まず 1 番ですが、9 ページの 25 番です。「健康スマイルウオーキング」について説明させていただきます。右下のページになります。</p>
<p>事務局</p>	<p>白根地区公民館の関口です。「健康スマイルウオーキング」について説明いたします。今年度も 6 月 2 日に開催して終了している事業ですが、鷺巻地区コミ協と共催し、大鷲公園から白根グレープガーデンを往復約 5 キロメートルをウオーキングし、途中休憩をはさんで白根グレープガーデンでいちご狩りをするという、地域の観光資源と住民の健康づくりを兼ねた事業で、今年で 18 回目を数えております。今年度は、70 人の方が参加し白根グレープガーデンのご協力により参加費を安価にしているため、皆さんにとっても好評でリピーターの多い事業となっております。</p> <p>今年は事業を始める前に公園で準備をしているときに通りかかった地域の男性からお話を聞きました。ご自分の子供が小さいときに、子供を連れてスマイルウオーキングに参加していましたが、今日は、その日ときの子が高校生になって、おばあちゃんを誘って参加しているということでした。このような話が聞ける、地域に根ざした事業とな</p>

	っております。毎年、楽しみに参加しているという方が多い事業となっております。
白根地区公民館 館長	続きまして、同じページになりますが、2の学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業として、一番最後12番の事業を説明させていただきます。
事務局	担当は、白根地区公民館の高森です。9ページ下段になりますが、「学び舎ねぎし」の事業経過について説明いたします。「学び舎ねぎし」は、公民館型の事業を学校に持ち込むことをきっかけに、児童と地域住民がともに学び交流することで学びの拠点として地域に開かれた学校を目指すことを目的としているふれあい事業です。本事業は、平成28年度から事業を開始しております。今年度も引き続き根岸小学校を会場に、児童と保護者そして地域住民の方々に参加していただき、一緒に工作をすることでともに学び交流することとしております。内容といたしましては、9月5日に根岸小学校2年生とその保護者、そして参加を希望された地域住民の方を対象にスクラップブック教室、そして10月19日に根岸小学校4年生とその保護者、そして参加を希望された地域住民の方を対象にローズウインドウ教室を根岸小学校を会場に行う予定であります。以上です。
白根地区公民館 館長	続きまして、10ページ3、家庭の教育力の向上を支援する事業として報告させていただきます。
事務局	<p>白根地区公民館の廣田です。よろしくお願いたします。これから、「乳幼児期家庭教育学級（ゆりかご学級）」と「子育てサロン モモ」について、お話をさせていただきます。「ゆりかご学級」は、新潟市に30年近く続いている市の事業となっております。今のところ5回の講義となっております。オリエンテーションを行い、また助産師や保健師による赤ちゃんの成長についてお話をいただいたり、またジェンダーについて、そして今親としてということで、みんなでディスカッションをしながら、仲間づくりをして続けていく事業となっております。白根地区公民館は、2期と4期を今年度は開催することになっております。ちょうど今日2期が終了いたしました。参加者は、23名。保育は双子がおりましたので24名ということで、今日5回目が終了いたしました。</p> <p>ちょうどアンケートをいただいたばかりですので、そのアンケートを2つほど紹介させていただきます。</p> <p>あっという間でよい時間でした。少しこの講座に参加して気が楽になりました。子育てのこと、夫のこと、自分のメンタルのことをたくさんの人と話すことができ、いろいろな考えを持って自分が豊かになったような気がします。興味のあるテーマがたくさんでとても楽しかったです。とてもいい講座なのでもっとたくさんのママたちに受講してもらいたいです。3人目ができたらまたゆりかごに参加したいです。というものを今日アンケートとしていただきました。</p> <p>次週より、みんなで揃ってゆりかご文集を作る予定となっております。4期は、真冬の1月から開始になります。今回も、助産師や健康福祉課の方のご協力によって23名という人数を集めることができました。</p> <p>もう一つ、子育て「サロン モモ」についてお話をさせていただきます。「子育てサ</p>

	<p>ロン モモ」につきましては、前年度より支援センター担当会議などに参加させていただいたり、または健康福祉課の会議に出させていただきます、今年度より区づくり予算で行われている事業に公民館も仲間に入れていただき、これから子育てサロンも作っていくことになりました。5月から始まっております。2週目と4週目の火曜日に行っており、BPに参加された方や、ゆりかご学級に参加された方、または話を聞いて参加されている方などたくさんいらっしゃいます。</p> <p>内容では、鷲尾さんに子育ての悩み相談に来ていただいたり、この間は親子遊びで子供たちと一緒に和室でいろいろな遊びをすることができました。今週末には、アロマで虫さされジェルを作ったりしながらみんなでその時間を共有していきたいと思っています。そしてその時間が終わったら、みんなでお昼を食べて3時までゆっくりして帰るような場所になっております。以上です。</p>
白根地区公民館 館長	<p>続きまして、同じページの項目4の3番「こどもクッキング」について、説明させていただきます。</p>
事務局	<p>担当しました、白根地区公民館佐藤です。よろしくお願いいたします。「こどもクッキング」です。目的は子供たちに自ら料理をする体験を通じて、食に関する興味や関心を持ってもらうこと。また、学校の先生や家族でもない地域の大人との接し方を学習体験することです。今年度のこどもクッキングは、6月から月1回計4回開催いたします。毎回、新潟市食生活改善推進委員の方に講師をお願いしております。毎回、班分けをすることで学校や年齢の違う子供同士が助け合いながら協力して最後までやり遂げる力をつけるという目的もあります。</p> <p>8月の3回目には、スリランカの方から本場のカレー作りを指導してもらい、料理作りをとおしてふれあいながら国際理解も深められるように計画しています。9月の最終回には、参加の子供たちから家族の分も作ってもらい家族を招待するお食事会を開催します。6月23日に1回目が終了いたしました。人数の割合としましては、合計15人で新規の児童と昨年も参加した児童と半々くらいで程よい緊張感をも持ちながらの、楽しくまた食材を残すことなく食べていきました。久しぶりに今年度は男の子の参加もありまして、活気のある「こどもクッキング」となっています。以上です。</p>
白根地区公民館 館長	<p>最後の項目になりますが、11ページ6番の項目の6番「シロネシネマ『喜楽座』」について説明させていただきます。</p>
事務局	<p>6番の「シロネシネマ『喜楽座』」について説明させていただきます。平成26年度に冬期間に外に出る機会をつくること、白根学習館の利用を増やすことなどを目的に4回上映したところからスタートいたしました。事業は白根地区公民館が主催ですが、その運営補助として白根シネマファンクラブというボランティアグループによって行われています。また、上映日当日ですが白根図書館からも協力していただいて、毎回上映する映画の内容に関連する書籍の閲覧・貸し出しサービスなども行っております。今年度は、5月から翌年3月まで計8回実施する予定であります。そのうち2回は出張上映会と称しまして、大通地区と昨年に引き続いて、天昌堂サロンで上映の計画をしており</p>

	<p>ます。また、お知らせですが、7月17日の火曜日夜7時から、「続。深夜食堂」を1階のラスベックホールで行います。ご都合がございましたら参加していただければと思っております。いつも、上映後に30分ほどソファのところで無料の茶話会のサービスも行っております。今までですと飲み物だけだったのですけれども、最近は何かちょっとしたお菓子みたいなものも用意したところ、今度は人がなかなか集まり過ぎてお菓子の効果はばかにならない吸引力が強くなるものだと感心しているところであります。</p>
白根地区公民館 館長	<p>白根地区公民館は、以上です。</p>
味方地区公民館 館長	<p>次のページは味方地区公民館ですが、また笹川担当から報告と説明をさせていただきます。</p>
事務局	<p>笹川です。三つほど概要を説明したいと思います。一つ目は、先ほども言いましたけれども、12ページの3番「味方塾」については好評ですので、昨年1回の分を今年は2回に増やして開催したいと考えております。次に、重点事業3の家庭の教育力の向上を支援する事業で、1番「子育て学習」ですが、味方児童館と共催してベビーマッサージ教室を開催しています。なお、単なるマッサージ教室ではなくて、講師を助産師の鷲尾先生にお願いしておりマッサージのほか子育ての話や個別の育児相談まで対応していただいております。</p> <p>重点事業4、1番「キッズ体験教室」を説明いたします。人形劇や陶芸教室、科学実験あるいは料理教室など、これも味方児童館と共催で開催しています。それぞれ、好評を得ておりますが、今年は特に陶芸教室の20名の募集に対して26名の応募で協力いただいている味方陶芸クラブの方も大変な中どうか対応をさせていただいて、地域の団体による貢献事業としても大切ではないかと考えております。以上です。</p>
月潟地区公民館 館長	<p>次に、月潟地区公民館担当の武田から説明させていただきます。</p>
事務局	<p>お手元の資料の右下の13ページをご覧くださいと思います。代表的なものをいくつかピックアップしまして、平成30年度の事業計画をご説明させていただきます。重点事項1の1番「女性セミナー」についてです。簡単な体操を経験してもらい、基礎代謝の向上と健康増進を図ることを目的とし、月潟地区保健会と共催で開催しています。今年度は、全5回。ヨガインストラクターを講師に招いてペルビックヨガという骨盤体操を実施しています。募集時から好評であつという間に定員に達しまして、キャンセル待ちが出るほどでした。講座の内容がよければ人は集まるという確信を得ることができました。今後も、満足してもらえる講座を企画していきたいと思っております。</p> <p>続きまして、重点事項1の10番「つきがた映画むら」であります。「つきがた映画むら」は今年度からの新規事業で、公民館の利用拡大と地域コミュニティの醸成を目的としまして、5月、7月、9月、11月に毎月1回ずつ合計4回公民館で洋画を上映します。今年度は、古きよき時代の名作をテーマにローマの休日などを上映します。参加</p>

	<p>者の反応を見ながら通年の事業に拡大できるように検討していきたいと思っております。また、夏休み限定ではありますが、映画むらのキッズ編を開催する予定であります。こちらは、小学生にジブリ映画を上映する予定であります。上映作品につきましては、月潟小学校の生徒に見たいジブリ映画のアンケートをとりまして上位4作品を上映する予定であります。続きまして、重点事項4の1番「青少年の居場所づくり『公民館の自習室』」であります。こちらから今年度からの新規事業で、小、中、高校生に夏休みや冬休みの期間中に公民館の自室を自習室として開放します。公民館が本来持っている教育施設という機能を充実させ、公民館の利用拡大につながるものと思っております。今後も地域住民のための公民館をモットーに手間を惜しまず尽力していきたいと思っております。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまのご説明につきましてご質問などございませんか。せつくなのでお一人お一人ご意見を伺いたいと思っております。何かございませんか。</p>
富井委員	<p>例えば、大鷲の「健康スマイルウオーキング」について聞きたいのですけれども、大鷲地区以外の人とかが参加しても大丈夫ですか。</p>
今井副議長	<p>大丈夫だと思います。</p>
事務局	<p>大丈夫です。区だより等でもお知らせしておりますので、いろいろな地区の方からも参加していただいております。</p>
富井委員	<p>これは、お話の中で息子さんが今度はおばあちゃんを連れて参加しているという継続的に参加している家族がいらっしゃるってすごい人気の領域なのだろうと思って、地域貢献の要因だと思って聞いていました。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございます。平原委員は。</p>
平原委員	<p>皆さん、このようにたくさん事業を行われているわけですが、人集めにはどのような方法で各地区の方たちに周知されているかお聞きしたいです。</p>
白根地区公民館長	<p>各公民館で少し違うかと思うのですが、白根地区公民館では、まず区報が第一で、あとチラシを作って各施設に置いたり、また学校にも子供向けのものについては学校をとおしてチラシをお願いしております。あとフェイスブックやホームページというふうに皆さんにお知らせしているところです。各味方地区とか月潟地区はまた少し違うでしょうか。もし、ほかにございましたら。</p>
味方地区公民館長	<p>味方地区は、一番はチラシを作って回覧なり各戸配付するというものが一つ、それから行政無線といいますか、あれが各家庭に入っておりますのでそれを活用して日時とか会場を知っていただくというようなところが大きい広報の仕方になります。</p>
月潟地区公民館長	<p>月潟地区公民館は、白根地区公民館や味方地区公民館と同じようにチラシの配布をやっております。一つ、うちのほうでフェイスブックを月潟地区公民館で開設しております。事業の案内と事業が終わったら翌日にその事業内容をアップしてすぐ事業の内容がフェイスブックに載るということで、非常にSNSを使った情報伝達を実施しており</p>

	<p>ますので、ぜひ委員の皆さんもフェイスブックを少しのぞいていただければ、月潟地区公民館がどんなものやあってどんなふうだったということが手に取るように分かると思います。</p>
富井委員	<p>今のお話で疑問に思ったのが、9ページ12番「学び舎ねぎし」ですけれども、2回あって4年生と2年生のお子さんと保護者を対象とするということでしたけれども、これはどうして2年生と4年生なのかということと、毎年開催しているのであれば2年生と4年生が巡ってくるので毎回通過すると思うのですけれども、これは毎回学年を変えたりしているのですか。それとも、毎年行っているということ。</p>
事務局	<p>これは、平成28年度から開催しているのですが、学年でいうと毎回うちは2回ですけれども2年生と4年生を対象にしている。学年を変えるということは、しておりません。これはおそらく学校の都合もあると思うのですけれども、時期によってちょうど2年生がそこにあてはめるような感じ。学校も計画を組んでいると考えていますので、それで毎年2年生と4年生を対象にということで、まずそこがかぶるといふか学年が変わると受講生がかぶってしまうのですが、そのようなことがないようにしております。</p>
今井副議長	<p>山崎委員いかがでしょうか</p>
山崎委員	<p>私は、去年からこの委員になったのですけれども、やはりこのようなものは回覧板やら何やらきても見ない方がたくさんいるのです。それで、今も先ほど言われたように、天昌堂でやはり高齢の方が集まったり、そこでお食事会か何かをやっていると思うのですけれども、やはりそれもきっとこのように回覧板かこれ、見事に皆さんが一生懸命刷ってくださっているのですけれども、やはりこのようなものは地域の皆さんによく見てもらったほうがいいと思います。私も去年やっこの委員になりまして見たのですけれども、すごくたくさん事業があるのですよね。だから地域、地域と言っても私も町内だけしかやっていないのですけれども、このようなものも本当にすごくいいことばかりやっているものだから、少しでも知り合いとか、どなたかがいた場合には、このようなものもよく見てもらって、自分が無理しないで参加できるようなものは参加してもらったほうがいいのではないかと今思っています。</p>
白根地区公民館長	<p>ありがとうございます。本当にそのとおりでと思います。こちらも、みんな出てもらいたいのですけれども、受け取るほうは今度何枚も何枚もあるので、少し分かりにくいということも確かに考えておりますので。特に、今年は子供たちに夏休みにこのような事業があるということをもとめてチラシを1枚にしたかったのですが、一部できたのですけれどもまだ完全にはできていないのです。これから、見やすいチラシを心掛けておりますので、よろしく願いいたします。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございます。これからも、見やすいチラシをよろしく願いいたします。吉田委員いかがですか</p>
吉田委員	<p>先ほど「白井の達人」というところで、私もお聞きしようと思ったところですが、何かこの地元の達人を取り上げてということを知ると何か公民館と直結しているとかほっとするような気がして、何かこれを気にしているのです。それで、平成30年度の事業の計画ということでこれはまた入っておりますけれども、ぜひ継続していつてもら</p>

いたい一つだと思います。というのは、私もときどき感じることもあるのですが、比較的自分の周りが見えないようで、あるときこの人がこんなことをする人だということも気づいてびっくりするときがあるのですが、そのような人が少し講師になったら、非常にいろいろな分野でこれに取り組めるのではないかという気がしまして、これはぜひとも地道に続けていってほしい一つだと私は感じております。

最近、私事ですけれども、私は味方地区ですから味方の国の重要文化財の笹川邸のボランティアガイドを今やっております、ガイドも何人かボランティアでやっているのですが、最近は特に少ないのですがときどき外人が見えられることがあるのです。そんなときに私も片言で通じない、ジェスチャー入れてもまだ通じないということが非常にほとんどで。英語というものは、会話くらい少し頑張ってやられたほうがいいかと思っていますときに、先般も外国の方の何名か団体が見えられたというときに、昨年ガイドになられた女性の方で結構年配の方ではあるのですが、英語が好きで検定をとったりしているというお話を聞いて、ぜひガイドをしてほしいということで、それなりに私は直接そのときにいなかったのですが、うまくいって大変喜ばれたようなお話も聞きました。そんなことで、身近に何かそのようなために長けている人がいるので、そういったことを地域で探すのは非常にいいことだと感じました。

やはり一つは、最近新聞等で公民館そのものの存在が問われているという記事をけっこう目にします。だから、それこそ公民館に関しての関心がどうかという状況それ自身にもあるのかもしれないのですが、ただ一部では、新聞を見ていると公民館なくして地域の発展はないという考え方も多いのですよね。先般、今年ですけれども、新聞に佐渡の方が投稿されているものを少しご紹介したいのです。求められる公民館の役割という題で、地域における公民館の果たす役割を今こそ初心に帰り考えなければならない。戦後の荒廃した地域の活性化を促すうえで、社会教育法により設置された経緯がある。幾度の改正があったにせよ、法は今も生きている。それが、社会が公民館活動を必要としているからではないでしょうか。結構長くあるのですけれども、この辺までは本当に私もそう思います。

先般も少しお話したことがありましたが、私の恩師でありました先般亡くなりました亀田の本田清さんといえば白鳥の会を立ち上げた人でカメラマンでもあるのですが、この方が新潟県の公民館連合会の事務局長をされているときに随分お世話になったのですが、よく言ってらっしゃったのが、公民館なくして地域の発展なんかあり得ないのだということを何度も力説されておりました。今は時代として、その代わりとして今コミュニティというものは非常にいろいろなところで言われておりますけれども、かといってコミュニティがすべて公民館のことをやるのかと。まだ、少し歩いてみますと、話を聞くと、コミュニティとは何だねと言う人もいます。まだ、そのようなこともあるので。2年ほど前でしたか、講演で日本体育大学の教授、先般も言いましたね。その方の講演で感銘を受けているのですけれども、公民館なくしてコミュニティなんかあり得ないという言葉が耳からはなれないのですが、だから何をやれということになると難しいのですけれども、やはりそういう情熱をもって、この一語に尽きると思います。

	<p>教育方針の中に、公民館の活動も、これからはこれまで以上に地域に寄り添えと。これしかないような気がします。あと、地域住民の人づくりに資する事業を展開することが大変重要であるということがありますけれども、この中では、とにかく地域に寄り添っていくのが本来の公民館の姿であると私も思いますし、公民館でいろいろなチラシで、いろいろな講座や活動をされているところを見ると、いいなと感じております。</p> <p>とめどもなく長くなってしまっただけで申し訳ないですが、私はそう思っておりまして、この委員を引き受けてから、全く能力もない私がすこしずつ関心を持つようになりましたので感謝しております。そんな感想でございます。</p>
白根地区公民館 館長	ありがとうございます。
今井副議長	ありがとうございます。田中委員の先ほどは報告だったのですが、今回は計画なので何かありますか。
田中委員	<p>質問でありますけれども、中学校は部活動が今年から変わりました。土日の中の必ず1日を休む。ウィークデーでは必ず1日部活をしないということが新潟市で本格的に決まりまして、今すべての中学校でやっているはずで、です。例えば中学生がいずれかの公民館事業には参加できるのです。なので、それぞれお近くの中学校に行きその辺をPRすると、中学生も今度は居場所がなくなりますので、今までずっと土日も学校に行って部活をしていた者が、今度は1日だめですということで、要は、新潟市は部活以外にいろいろなことをやってほしいという意味もあり少し休んでほしいという意味もありやっているの、ほとんど中学校にも情報提供をしていただいてどんどん誘っていただきたいと思います。</p> <p>それから、平日も1日休みです。白井中学校では、原則水曜日が部活なしです。近隣の中学校もどちらか週1日、必ず休みにしていると思いますので、そういったところで、例えば放課後どうでしょうかということ、どんどんこれからは巻き込んでいけると思いますので、お話をあつたとおり、やはり地域づくりというものは、やはり公民館が主体にならなければいけないと思います。今、学校も交えてということで地域教育コーディネーターをすべての学校に配置し、学びの拠点をそこを中心と何か構想しなさいというものがねらいとしてあります。なので、多分地域教育コーディネーターは公民館に顔を出して、いろいろな情報を仕入れているかと思っておりますので、そういうところもネットワークをつなげることによって、どんどん具体的になっていくのではないかと思います。とにかく部活が変わりましたので、昨年とは違う参加の仕方が中学生はできると思うので、ご承知おきください。</p>
本間委員	白根地区公民館として、白根と味方と月潟と一緒に何か一つ目玉になるようなものがないのかということが一つあります。それぞれすごく特徴があって大勢参加している繰り返し行われていて皆さんが楽しみにしているということは、地区を越えて参加しませんかとなるとものすごく大きくなってそんな簡単にはやめられないと。公民館はなくせないよというようになっていくのではないのかという期待も込めて。本当に、それぞれが目玉でやっている、これは絶対にはずせないという事業を売りにしながら、先ほ

	<p>どの情報として提供する仕方として1枚にできないのかということが一つ。</p> <p>あともう一つは、今本当に発達障害といわれるお子さんが増えていてパーセントが本当に9パーセントあると報告では言っています。9パーセントということは、ほぼ1割に近いので、10人に1人。特に小学校1年生にあがってくる10人に1人はそのような障がいを抱えているのではないかとのお子さんになります。すごく、育てにくいはずです。でも、頑張って日々お家の方は必死に子育てされているはず。そのような方々はなかなかいろいろなところに出にくいですし、つながりもお子さんが帰ればとても大変になるのでもう出ない方が多いです。以前、西蒲でそのようなお子さんの保護者を対象に講座を開いたらものすごく盛況で、全然区ではないのに中央区とかほかの区からも参加があるということを知っていました。ですので、なかなか大変な日々を送られている方だからこそつながっていくような場も設定していただけたらいいと思います。学校も本当にお子さん1人1人に寄り添いますけれども、お家の中の大変さを日々感じていますので、そういうところでもつながりがついて簡単に相談できるとか本当に苦しいという思いを共有する場を作っていただけたらと思っています。以上です。</p>
白根地区公民館 館長	<p>ありがとうございます。白根地区公民館でも子育て世代の学習支援ということで、今回「ゆりかご学級」を2期だったものを2期と4期と増やしておりますし、市の施策でもあります子育て支援を取り組んで公民館としてもできることをと考えております。今ほどの発達障害の関係も貴重なご意見として取り入れていきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございました。私も一つ言わせてもらってよろしいですか。月潟で「女性セミナー」を今やっているのですが、私も好きで参加して受けさせていただいています。大好評で友達も誘ったら、もういっぱいだめだということでお断りされたということで、それほど盛況です。先ほど言われたことが、内容がよければ人は集まるのだろうという言葉を知って、そうさうだと、そのようなお金を払ってでもいい講座があったら出たいと思うのです。どこからでも通いたい。私は中央区から来ていますけれども、本当にお金を払ってでも遠くても。先ほどの発達障害の講座もそうですけれども、来たいと思うのです。ですから、素晴らしい講座を頑張ってやっていただきたいと思っています。</p> <p>皆さん1人1人からたくさんいい情報をいただいたり、必要なご意見をいただきました。ありがとうございます。ほかに質問等ないようですので、次に移りたいと思います。</p> <p>議題（4）その他について、事務局から味方地区公民館管理方法についてご意見を伺いたいということですのでお願いいたします。</p>
議題（4）その他	
味方地区公民館 館長	<p>それでは、資料4をご覧くださいと思います。これまでも、公民館の事業についていろいろご討議いただきまして、公民館の事業って大変だし大事だということをいろいろご意見いただきました。今回、この味方地区公民館の管理方法についてということは、地区公民館、私どもの味方地区公民館のいわゆる貸館の関係、建屋の管理の関係ということでご意見をいただきたいということでございます。これも公民館運営審議会に</p>

つきましては、何かを決定するところではありませんけれどもいろいろ公民館に関するものについて意見を言っていただく。私どもは運営するうえでそれを参考にするということもございますので、今回こうやって意見聴取をさせていただきたいと思ってお知らせさせていただきました。

それでは、私ども味方地区公民館の現状を先に説明をさせていただきますと、公民館事務室、私ども公民館の職員が味方地区公民館という建物と離れた味方出張所の中にいるということでございます。これは、ほかの公民館ではこのような所はないのですけれども、味方はまちづくりセンターを味方出張所内にまちづくりセンターということでコミ協なり、それから味方協議会の味方地区の部分とか一緒に出張所の中に作ろうというそのようなねらいがあった中で、味方地区公民館の職員が味方出張所内にいるというような経緯がございました。

そのような経緯から、平成 21 年からですけれども出張所に移転しました関係で、開館時間のすべてをシルバー人材センターに管理委託しているという状況でございます。それから、②のところに行きますけれども年間利用が村部のほうの地区公民館ということでもありまして比較的少ないという中で、利用のない時間もシルバー人材センターに管理を委託しているという状況があります。そこに時間帯とそれから利用日数等も平成 29 年度実績を挙げておりますけれども、夜間は半数、半分を超えていますけれども、それ以外は 20 パーセント、30 パーセントという利用しかないというような状況でございます。それを受けまして、私どもも少し課題として今検討しておりますのが、平成 31 年度少し管理の方法を変えられないかということで、当然経費の削減ということが目標の一つにはあるのですけれども、それで考えております。

これは、管理方針の素案ということで、まだこれでいこうということではございませんけれども、こんなふうを考えられないかということをご示しをしております。①につきましては、平日の午前、午後については利用のない日は管理委託をしない。要するにシルバー委託をしない。閉館はできませんのでオープンにはしておりますけれども、利用のない日については管理人がいない状況になるということです。それから、②につきましては土日、休日、夜間についてはこれまでどおりシルバー人材センターに管理委託をしたらどうかということです。これは、上記 1、2 の理由につきましては、シルバー人材センターで、まだ正式には詰めておりませんが聞いたところでは 3 か月前くらいに利用する時間帯が分かればその日だけ管理人を配置してくれということであれば、3 か月前くらいに予定表をもらえば何とかできますというような返事をいただいておりますので、それを考えますと、3 か月前に予定表を作成しまして管理委託をした場合、それ以降の変更についてどう対応するかという問題が出てくるのですけれども、平日の午前、午後については離れたところなんですけれども、私ども職員いますので、職員が対応できるのかということです。逆に言いますと土日、休日、夜間については職員が休んでいるといえますか、出張所のほうにもおりませんのでそこについてはシルバー人材センターに今までどおり委託をしたらどうかということで考えております。

平成 30 年度、今年度中にいろいろシルバー人材センターなりと打ち合わせをする中

	<p>で何とかいい方法に結び付けていきたいと考えております。ただ、懸案事項を三つ挙げておりますけれども、もう一つ踏み込んで利用率が低い日曜日については、平成 29 年度は 52 週あるうちの 10 日位しか利用がない。それから、定期利用がない関係で日曜日でも、もしかしたら管理委託しなくてもできるのかということが一つございまして、これも検討したいということです。それから、午前中②ですけれども、午前中は利用がない場合であっても日常的清掃それから窓を開け閉めする、空気を入れ換えるというようなところ、それから日常的清掃の中にトイレ掃除もありますので、これは午前中利用がないから閉めておくということではなくて、掃除も含めて管理委託を続けたらどうかということが一つ懸案としてあります。</p> <p>それから、味方体育館と一体的になっておりますが、管理は別々という形になっております。味方体育館の指定管理者、これは来年平成 31 年が切り替わりの時期で同じ管理者になるかどうか分かりませんが、もし平成 31 年決まったようであれば、そちらとの連携も必要かということが懸案としてございます。そういうことで、利用者に対してはなるべく不便のないようには考えたいと思っておりますし、ただ逆にいうと経費削減ができるところは削減していきたいというようなものもございますので、こんなふうを考えておりますということをお示ししまして、ご意見があればいただきたいということでございます。よろしく申し上げます。</p>
今井議長	味方地区公民館の管理方法につきまして、味方にいらっしゃる富井さん、いかがですか。
富井委員	<p>今お話を伺っていて、現状がこのように.....ですけれども、懸案事項②午前中は利用がない場合であっても日常的清掃や換気など管理が必要ではないかということですが、これはうちの児童館も 7 月 14 日に公民館の調理室を使わせていただきます。そのようなことも考えて、日常的に換気ですとか清掃はすごく大事で、いざ使おうと思ったときに衛生的ではなかったりするところが、やはりますます利用も減ってしまうのかと感ずるので、本当に経費削減ということを考えて使わない部分については人がいなくてもいいと思うのですけれども、午前中はやはり人がいてもいいのかと感じました。調理室もあるところなので、やはり空気もよどんでしまうかと思って、お金はかかってしまうのですけれども。午後はいなくても大丈夫なのではないかと、中で仕事をさせてもらって感じました。</p>
今井副議長	ありがとうございます。吉田さんはいかがですか。
吉田委員	<p>この件について、この前公民館の課長さんとお会いしてお話を事前に聞いておりました。私の感じるところは、これは時代ですし削減していくと。現状がこういうことなので、無駄な部分を見直してということだと思っておりますが、非常にいいことかと思っております。最終的には、私はこうやっていくうえでどこに何か負担がかからないのかということで、一応いわゆる公民館にいらっしゃる職員の方に負担があまりいくようであれば、厳しいのではないかと感じたのですが、その辺のお話を聞いていたのですが、何とかそんなにならなくてもうまくできるのではないかなというお話がありましたので、私はいいほうかと思っています。だから、細かいところで今お話があったように.....。最低</p>

	限のそのような部分は、指定管理に話をして頼むという方向もあるわけですから、この方向でやっていくことがいいことかと私は感じています。
今井副議長	ありがとうございます。本間委員、来たばかりで、あまり分からないかと思いますが。
本間委員	利用したこともないので、申し訳ありません。
今井副議長	ありがとうございます。
杉柳委員	管理人配置ということですが、一応管理人のいる部屋というのはあるわけですね。そこに公民館事務室職員がいないというか、聞けないのでしょうか。
味方地区公民館長	そういうことで、平成 20 年度まではそこに職員がいたのです。それで、先ほど少し説明しましたが、まちづくりセンターに人的集約をしようということで、味方地区公民館も味方出張所に人間をおいて、それでそこに味方地区公民館の建物の中には今度は人がいなくなりますので、そこを昼間もシルバー人材センターに委託したということです。ですから職員はいないのですけれども、管理していただくシルバー人材センターの人はいるのです。ただ、公民館の利用がない中でシルバー人材センターの人たちを配置しておくのが効率的ではないということで、その辺を何とか経費削減につなげられないかということが今回のものです。私どもがそちらに出向くということは可能です。ただ可能ですけれども、これも懸案事項に載ってないのですけれども、あそこにイントラネットという市役所の中のパソコンで仕事ができる作業環境がないのです、今。ですからその辺、もし職員が行くようなことであれば、常時ではありませんけれども、たまに行くようなことがあったときにイントラネットを整備して、そこでも仕事ができるような環境を作らなければだめかという懸案もあるのです。人が行って、そこにいるということは可能なのです。
杉柳委員	味方出張所内に職員は何人いるのでしょうか。
味方地区公民館長	出張所の職員としては 10 人います。それで、公民館職員はその隣に部屋を借りて正規職員が 3 人、臨時職員、図書室の関係で 1 人いますので、4 人の島を公民館が持っているという状況です。ですから、そのまま公民館職員が建物の味方地区公民館に戻ればいいのではないかという発想もあるのでけれども、それは今度もっと大きい上の、市のまちづくりセンターをどうするというような話の中ではこれから出てくるのかもしれませんが、今のところ私どもが考えるのは、そこまでは考えずに、今私どもができるところを考えているという状況です。
吉田委員	一つよろしいでしょうか。実際に、現在お話できるのであれば、シルバー人材センターに委託しておるわけですが、その年間どのくらいかかっている、方向として実際この形をとっていった場合に、変な話いくらからい削減できるのか。これはだいたいです。もしお話できるのであれば
味方地区公民館長	年間の経費につきましては、平成 30 年度はシルバー人材センターに払っている管理委託料が約 340 万くらいです。それで、土日、休日、夜間だけを委託した場合は多分 200 万くらいで済むと思うのですが、昼間私どもはいませんのでそこもシルバー人材セ

	<p>ンターにお願いすると。先ほど言いました3か月前に利用があるところはお願ひするということになりますので利用するボリュームによって変わってくると思います。先ほど言いました340万から200万を引きますと140万くらいが日中多分かかっている分だということにしますと、その半分くらいは削減できるのかとおおざっぱですけれども、考えております。</p>
杉柳委員	<p>清掃管理が必要ということになるのですけれども、ほかの公民館ではトイレ掃除とかいろいろな掃除があると思うのですけれども、そこは職員がやっていることですか。</p>
味方地区公民館長	<p>私どもの場合はシルバーさんの午前中来てくれる人がしてくれています。トイレや床清掃などいろいろあります。それで、今ここに私が説明した中で書いてある日常的清掃ということは簡単な掃き掃除とか、共通スペースの掃き掃除とか、玄関の前の掃除とか、それから先ほど言ったトイレ掃除ということになります。それは、ほかの公民館は委託ですよ。</p>
白根地区公民館長	<p>白根地区公民館は委託業者です。常時、毎日お1人清掃してくださる方がおります。</p>
月潟地区公民館長	<p>月潟の公民館の管理委託については、月潟の公民館と出張所は連結といいますか、つながってまして。私どもの公民館の部分は、味方と同じにまちづくりセンターということで、月潟出張所のワンフロアのところで3人がそこで仕事をしまして、それで平日の日中は味方とは違ひまして、うちのほうに職員がおりますので公民館の管理をします。ただ、平日の夜5時から9時半まではシルバーが来ていただいて。あと土曜日と日曜日はシルバーに委託している。今、味方が提案した日曜を除きたいと。月潟は、除いた契約をしております。契約の委託料も今渡辺館長がおっしゃった金額とほとんど同じくらい。200万円くらい。あと、トイレの清掃とそのようなものについては、またそれなりの業者に委託しています。その委託料が非常に安い委託料で月2回ほど来てくださいます。そんな感じでやっております。以上です。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございます。</p>
杉柳委員	<p>よく分かりました。この懸案事項でいいと思うのですけれども、もし職員が例えば午後から利用があつて午前中はない場合は、これは職員が少し出かけていって窓を開けるとか、玄関掃除くらいはできないものでしょうか。すごく広い玄関で1時間、2時間もかかるようでしたら少しまずいかもしれないのですけれども、入り口を少し見てごみとか落ちていなければ、少し職員が管理や掃除をすることも一つの方法だと思います。</p>
味方地区公民館長	<p>ご意見としては、そういうご意見があるということはいいただきましたけれども、多分掃除とかとなるとやはり職員の人件費は高いですから、やはりアウトリーチといいますか、外部委託にならざるを得ないのだと思います。</p>
今井副議長	<p>よろしいでしょうか。次に進めていきたいと思ひます。 もう1点、その他のところですが成人式について、事務局から願ひします。</p>
白根地区公民館長	<p>この件については、昨年の2回目のときにご意見をいただきました。新潟市の成人式と南区の成人式と二つあるのということで、一本化は考えているけれどもということ</p>

	<p>でご意見をいただいたところですが、そのあといろいろ南区選出の市議の皆様とか、また関係者の皆様からお話を聞いて、それを参考にして少し職員で検討しております。</p> <p>今現在の状況について報告させていただきます。資料5の上のほうが、地域別対象者の状況です。下のほうが出席率の推移ということで表にまとめてございます。上の表を見ますと非常に出身中学校別で大きく差がございまして、南部にいくほど高い出席率という状況が分かるかと思えます。下段は、見ていただくとそれも地域によって非常に差があるのですけれども、全体を見て見ますと平成26年度までは50パーセント前後。平成27年、平成28年は40パーセント前半。平成29年、平成30年は30パーセント前半という状況になっております。こんな状況を少し参考に検討いたしました。</p> <p>平成31年度からということを考えてみますと、平成31年度統一するということになると、新成人は市主催の平成31年1月の成人式が出席できる唯一の成人式ということになります。晴れ着のレンタルとかいろいろ確認したところ、レンタルは概ね1年前から予約する方が多いということだそうです。そのために、来年度から一本化するには少し周知期間が短くて、非常に関係者から理解が得られにくいのではないかと考えております。平成31年度の南区の成人式は例年どおり開催することとして、新成人を中心とした実行委員会を組織しまして、成人式のアトラクション部分について企画、運営をお願いすることとする。そして一本化については、平成32年度の成人式からを目指して南区主催の成人式は行わず、新成人による成人の集いとして移行していきたいと現在進めているところです。</p> <p>また、進め方については、お知らせとか周知の方法とか、地域の皆様のご理解を得なければいけないと思うのですが、こんな方向で今考えております。</p>
今井副議長	<p>ありがとうございました。成人式は5月3日です。皆様よろしかったらご参加ください。毎年、このところ平原さんと私と2人だけです。どうもありがとうございました。それでは、以上で本日の予定されておりました議事はすべて終了いたしました。本日、予定された議題以外に何かございますか。ないようなので、皆さん長時間にわたり活発なご議論をありがとうございました。本当に不慣れで皆様にご迷惑をおかけして申し訳なかったです。時間も少しオーバーしてしまって、上手にまとめることができませんでした。申し訳ございませんでした。無事に終わることができましたので、それでは事務局と交替したいと思います。よろしくお願ひします。</p>
5 その他（連絡事項等）	
事務局	<p>（司会）</p> <p>今井さん、大変ありがとうございました。最後になりますが、その他の連絡事項になります。次第5、第69回の新潟県公民館大会ということで、7月19日（木）に江南区で行われます。参加委員の方には、文化会館の進入経路図と会場案内図、それから昼食会場の用紙をお配りしております。メインの会場と昼食会場が別になっていますのでお気をつけくださいということと、会場内の駐車場の進入経路図があると思うのですが、入り口が1か所に限定されています。入って、それから出口は方面別に分かれて出るということで、自家用車で行かれる方はこの経路図にしたがって行って駐車場に止めてい</p>

	<p>ただいで会場入りをしていただきたいと思います。</p> <p>公民館の車で行かれるという方については、白根地区公民館を9時10分に出発します。平原委員に関しては、月潟公民館の鈴木さんが迎えに伺うと聞いていますので自宅でお待ちいただきたいと思っています。個人の車で行かれる方、本間委員、田中委員、吉田委員、今井委員の方については、会場がかなり混み合うということで基本的には代表者、新潟市以外の方は代表者がホワイエの前で受付をしますが、新潟市の個人の方もそちらのほうで新潟市の受付があるということなので、そこで受付をしていただきたいと思っています。そこで、昼食を申し込んでいる分についてはお金を払っていただいて、参加費は新潟市がまとめて一括で支払いをしています。公用車で、まとまって行く方は職員と一緒にいきますので、職員の方が集めて受付で支払うという段取りになっていますので、そのようにお願いをしたいと思います。あと、終了は3時20分ごろ。帰りは全部終わって、4時ごろここには白根に戻って来る予定にしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。連絡事項は以上になります。よろしいでしょうか。</p>
今井副議長	質問はないですか。大丈夫ですか。
事務局	<p>(司会)</p> <p>では、特になければこれで終わりたいと思いますが、長時間のご審議ありがとうございました。これをもちまして本日の新潟市白根地区公民館運営審議会を終了します。本日は、どうもありがとうございました。</p>
6 閉会	

(事前配布資料)

資料1：平成29年度 公民館事業報告

資料2：平成30年度 新潟市公民館事業の基本方針

資料3：平成30年度 公民館事業計画および実施状況

(当日机上配布資料)

資料4：味方地区公民館の管理方法についてご意見をお聞かせください

資料5：成人式出席状況について